

令和4年度 第1回小中一貫教育小規模校全国連絡協議会

令和4年5月23日午後2時半（オンライン）

【参加校】

宮島学園（広島県廿日市市立宮島小中学校）

まつのやま学園（新潟県十日町市）

滋賀県長浜市立余呉小中学校（鏡岡学園）

奈良市立田原小中学校

京都大原学院（京都市立大原小中学校）

広島市立阿戸小中一貫教育校

1 会長挨拶

2 学校の様子と会員の紹介

○宮島学園

小学校18名入学 中学校13名入学 児童生徒総数128名 島外からの生徒が半数を占めるようになった

小規模校の課題の他に保護者との連携の充実を考えていく必要がある 観光客が70%ほどまで戻ってきた 欧米からの観光客が戻っていない

4月の下旬余呉小中4年生との交流を行った 廿日市コロナ少しずつ学級閉鎖などが出ている ウィズコロナでの学校運営の形を模索していきたい 本年度から学校運営協議会をスタートする

○まつのやま学園

新潟県・十日町市はコロナは落ち着いてきた 飲食を伴う活動は制限なしに 3年ぶりにPTA総会が実施できた 修学旅行も県外へ（関西方面）6月1日～4日 コロナ前の活動に戻していきたいがその様子を知る職員がいなくなっている 再構築を行い学園の特色を失わないように 雪里留学という事業を今年からスタート 宿泊施設を準備し寮母さんを募る まだ準備が必要

○余呉小中学校

昨年の全国サミットはオンラインでの開催だった 学校では9名の先生が異動されてきた 4月 9年生修学旅行（宮島学園との交流） 5月授業参観実施多くの保護者来校 PTA総会は書面で開催 GW明けからコロナ感染者が若干増加した 先週中体連試合開催保護者応援なしという制限で 6月前期課程6年生修学旅行で奈良へ 大原小中と交流予定

○田原小中学校

小学校40名 中学校29名 全体69名 5月修学旅行をひかえている 6年生は和歌山県 9年生は兵庫県 地域に来校いただき、花植え 芋植えなどの活動が再開されている PTA総会は書面開催 来月プール開き 地域の思いとあわせながら行事を再開していきたい 奈良市の特認校制度で奈良市在住の生徒が通うことができる 全体の5分の1が校区外から通っている 見学を終えてから入学可（保護者の送り迎えが条件）

○大原小中学校

11名入学 2名転入 86名→89名に増えた 1～6年が各10名以上に 4月の終わりに2学年が学年閉鎖に 9年生4月終わりになんとか長崎へ修学旅行 6月4日(土)運動会開催保護者参観可 「京炎そでふれ」という創作ダンスを大学生が指導に来校している 今年度松阪市・神戸市から一貫校立ち上げの視察の依頼があった 初代校長の著書・10周年記念誌を送っている オオムラサキ保存の取組で文部科学大臣賞 三千院のご門主が広げてくれ 切り絵作家が作品にするなど 滋賀県知事が他の保護団体をつなげてくださったり 学校運営協議会の発案で、英語教室を改装して、放課後の取組として毎週木曜日に国際理解活動を開催する予定

○阿戸小中一貫教育校

小学1年生13名入学 全校120名 先日小中で運動会実施 保護者2名まで参加 中学校のリーダーが考えた創作ダンス 授業参観からPTA総会を実施した

3 第7回小中一貫教育小規模校全国サミット in 宮島について

昨年度までの取り組みを参考に メインとして「継承」・「創造」を合言葉に進めていく 伝統を大切に守りながら未来を作り上げていく 「学校と地域でつくる小中一貫教育小規模校」「地域の教育力や特色を生かしたカリキュラム作り」「地域を愛し、誇りを持ち、自分に自信をもてる児童生徒を育てる」キーワード 昨年度の余呉小中学校のサミットの柱であった「学びをつなぐ」「仲間をつなぐ」「地域をつなぐ」も引き続き取り組んでいきたい。

思考や表現力の深まり、広まりを目指していきたい 学園生が自分事で行き組んでいけるように構成を組んでいる 地域の方との対話から学ぶ取組なども大切にしたい

(サミットについて)

○9年間を見通した資質能力を育成する系統的なカリキュラムマネジメントについてみなさまから教えていただきたい

○小人数の学びのなかで思考力・表現力をつける指導・実践など、授業をみていただき、工夫や成果、課題など交流したい(地域のゲストティーチャーなど)

○自身の生き方について考える学びについて

この3点について交流したい。詳しくはまたメールなどで発信する

(日程について)

10月28日(金)開催決定 集合形態で

午前中は校内で授業参観 昼食

午後地域での取組などを見ていただく 研究協議 小松先生からの講演など

取り組みのリーフレットなど各校にお願いしたい

次回7月ごろに協議会を開催 その時に詳しく

4 賛助会員紹介

5 その他